

# まつりで環境啓発活動

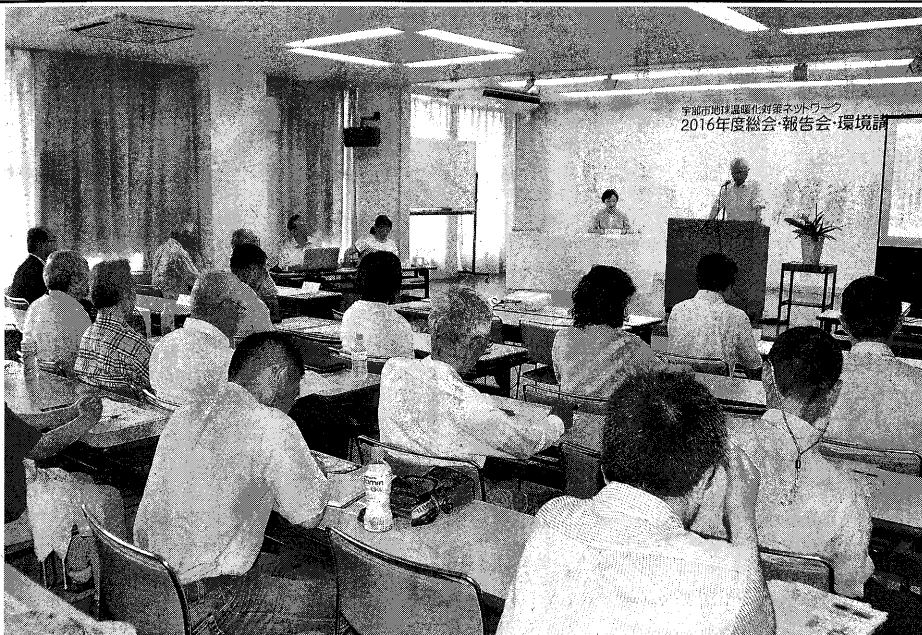
## 地球温暖化対策ネット 会員増強し事業推進

宇部市地球温暖化対策ネットワーク（溝田忠人代表）の総会が18日、福祉会館で約50人が出席して開かれ、地球温暖化対策のために連携してさまざまな事業を展開していくことを決めた。

溝田代表が「子供たちへの環境教育を積極的に進めるとともに、会員増強を図り地球温暖化対策を図っていく」とあいさつ。来賓の久保田后子市長が「温暖化対策には個人の意識改革が必要だが、まちとしての取り組みも必要。市ではにぎわいつくりはもちろん、低炭素まちづくりも目指している。工夫して富もエネルギーも地域で循環させる必要がある」と訴えた。

前年度の収支、事業報告に続いて新年度の予算案、事業計画案を審議決定。温暖化対策プログラム・プロジェクトの調査、企画、推進」「ネットワークの体制整備と強化」の活動指針を決めた。具体的には「きげん未来フェスタ（11月26日）や宇部まつり（11月6日）での環境啓発活動、カーボンオフセットの推進、スマートフォン通勤の推進、会員増強、宇部と周防大島町による子ども向け環境スタディツアー（8月22

連携強化を話し溝田代表（福祉会館で）



23日）などに取り組む。暮らして地球温暖化の総会後は仰木則康前事務局長が「わたしたちのテーマで講演した。」

（浅野）